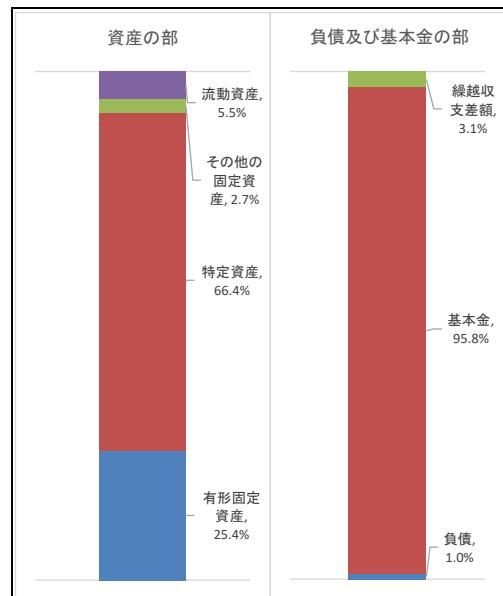


2023年度 学校法人冲永学園決算概要

貸借対照表

- 貸借対照表は当該会計年度末における学校法人の財政状況を表すもので、資産、負債、純資産の項目から構成されています。
- 2015年4月に学校法人会計基準が改正され、「基本資産の部」と「繰越収支差額(これまでの消費収支差額)」を合わせて「純資産の部」とされました。また、固定資産の中項目として新たに特定資産が設けられました。
- 2023年度は総資産額が前年度比約3.8億円増加しました。これは主に特定資産と有価証券・現金預金が増加したことによるものです。減価償却引当特定資産等を積み増しました。

2024年3月31日現在の財政状況



貸借対照表の年度別推移

(単位:百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度
固定資産	35,651	35,635	35,843
有形固定資産	9,956	9,794	9,633
土地	7,117	7,117	7,117
建物、構築物	2,521	2,374	2,232
教育研究用機器備品	165	144	128
管理用機器備品	6	12	11
図書	143	144	145
その他	4	2	0
特定資産	24,897	25,023	25,173
その他の固定資産	798	818	1,038
有価証券	138	162	385
長期貸付金	0	0	0
その他	660	656	653
流動資産	1,927	1,900	2,067
現金預金	1,811	1,815	1,931
未収入金	68	46	96
有価証券	0	0	0
その他	48	38	40
合計	37,578	37,535	37,911

主な財務指標

	2021年度	2022年度	2023年度
固定比率	96.1	96.0	95.5
=固定資産÷純資産			
流動比率	507.1	644.2	744.3
=流動資産÷流動負債			
純資産構成比率	98.7	98.9	99.0
=純資産÷総資産			
総負債比率	1.3	1.1	1.0
=総負債÷総資産			

➢ 2023年度末の主要財務指標は次の通りです。

- ・固定比率は95.5%であり、固定資産は全額が自己資金で賄われています。
- ・流動比率は744.3%と高く健全性を維持しています。
- ・負債比率は1.0%と引き続き低水準で、借入金はありません。
- ・純資産構成比率は99.0%と極めて高く財務的に安定しています。

- ・安定した学校経営を維持するため、財務内容の健全性確保に常に努めています。
- ・教育環境の整備に努めています。今後の教育環境充実のため、計画的な基本資産の組入を実施しています。

2023年度 学校法人冲永学園決算概要

学校法人会計

- 国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は、「学校法人会計基準」に従って会計処理を行い、計算書類を作成する必要があります。
- 2015年4月に学校法人会計基準が改正されました。学校法人会計基準に基づき作成される計算書類には、「資金収支計算書」、「活動区分資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」及びそれらの内訳表や附属明細表があります。

資金収支計算書

- 当該会計年度に行ったすべての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにするものです。

資金収支計算書の年度別推移

(単位:百万円)

収入の部			
科目	2021年度	2022年度	2023年度
学生生徒等納付金収入	1,204	1,019	842
手数料収入	15	13	12
寄付金収入	9	4	2
補助金収入	424	384	317
資産売却収入	2,793	6,347	2,840
付随事業・収益事業収入	75	67	63
受取利息・配当金収入	350	352	814
雑収入	180	39	82
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	207	182	144
その他の収入	2,456	3,928	1,729
資金収入調整勘定	△ 343	△ 253	△ 278
前年度繰越支払資金	1,881	1,811	1,815
収入の部合計	9,251	13,894	8,382

期中の有価証券等資産の売却収入であり、購入は資産運用支出に計上しています。

翌年度に入学予定の学生生徒から受け入れる授業料や入学金等です。

未収入金や前年度前受金を差し引くことによって、資金の収入額を調整するものです。

支出の部			
科目	2021年度	2022年度	2023年度
人件費支出	1,149	1,047	1,118
教育研究経費支出	385	363	353
管理経費支出	233	235	239
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	333	6	4
設備関係支出	23	22	10
資産運用支出	4,571	9,887	4,284
その他の支出	841	569	528
資金支出調整勘定	△ 95	△ 50	△ 85
翌年度繰越支払資金	1,811	1,815	1,931
支出の部合計	9,251	13,894	8,382

施設関係支出は、土地、建物、構築物等を取得するための支出です。設備関係支出は、教育研究機器備品、その他の機器備品、図書等を取得するための支出です。

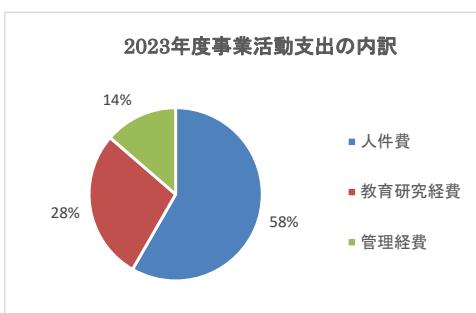
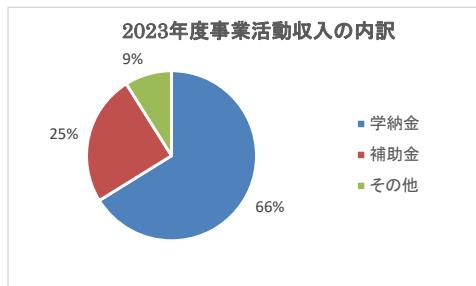
未払金や前年度前払金を差し引くことによって、資金の支出額を調整するものです。

資金収支の結果としての翌年度繰越支払資金は1,931百万円となりました。

2023年度 学校法人冲永学園決算概要

事業活動収支計算書

- 2015年4月に学校法人会計基準が改正され、「消費収支計算書」が「事業活動収支計算書」に変更されました。区分経理が導入され、収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて表示することで学校法人の経営状態を把握するものです。
- 事業活動収支計算書は、企業会計における損益計算書に近いものです。



事業活動収支の年度別推移

(単位:百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	1,204	1,019
	手数料	15	13
	寄付金	9	4
	経常費等補助金	415	382
	付随事業収入	75	67
	雑収入	39	38
	教育活動収入計	1,757	1,523
	人件費	1,135	1,047
	教育研究経費	558	537
	管理経費	250	251
教育活動外収支	教育活動支出計	1,943	1,836
	教育活動収支差額	△ 186	△ 313
	受取利息・配当金	350	352
	その他の教育活動外収入	1	2
教育活動外支支	教育活動外収入計	351	354
	教育活動外支出計	2	2
	教育活動外収支差額	349	352
	経常収支差額	163	40
特別収支	資産売却差額	11	18
	その他の特別収入	118	2
	特別収入計	129	19
	資産処分差額	344	15
	その他の特別支出	1	0
	特別支出計	345	15
	特別収支差額	△ 216	4
基本金組入前当年度収支差額			
△ 53			
基本金組入額合計			
△ 348			
当年度収支差額			
△ 401			
前年度繰越収支差額			
1,029			
基本金取崩額			
70			
翌年度繰越収支差額			
698			
事業活動収入計			
2,236			
事業活動支出計			
2,289			
事業活動収支差額			
△ 571			

教育活動収入は、本学の経常的かつ業務運営のベースとなる収入です。学生生徒等納付金、補助金等の収入と、人件費、教育研究経費等の経常的経費の収支です

第3号基本金の運用収入等財務活動等による事業収支です。

臨時的な収支を表しています。有価証券、固定資産の売買損益等です。

第1号基本金組入れに係わるものです。